



『絵を描く楽しさ』

野岸小学校

6年2組

小山

大翔



ぼくは、今年の夏休みに、しなの鉄道の絵にチャレンジしました。小学校生活最後の夏休みなので、精一杯取り組めるものにしようと思い、絵を描くことにしました。

7月31日(月)、学校に行つて、どんな絵にするか、先生が撮つてくれた写真を見ながら構想を練りました。その後実際に走っているところを見に行

きました。電車は、長く待たされたのに、一瞬で通り過ぎてしまいました。でも、通り過ぎる電車は、力強く颯爽としていました。その様子を先生に写真に撮ってもらつて、学校に帰りました。

しなの鉄道には、いろいろなデザインの車両がありました。その中から、ぼくは、赤とシルバーの車両を描くことにしました。撮ってもらつた写真を見ているとなんだか「いい絵」が描けそうな気がしてきました。

絵は、3日程、学校に通つて、先生に指導してもらいました。それでも完成しないので、自宅に持ち帰つて、一週間かけて、やっと完成させることができました。

学校では、主に下書きに取り組みました。画用紙を四分割して、電車のパーツや複雑に入り組んだ何本もある線を細かく描くことと奥行きが出るように電車を立体的に表すことに気を付けて描きました。下書きはとても細かく描けました。

『これからが本番だ。』と気を引きしめて色塗りに取りかかりました。というのも、いつも下書きはうまくいって

色塗りで失敗してしまうからです。

色塗りは、バックの空から色を着けました。空の上の方は濃い目に、下の方はうす目にしました。雲もマンガっぽくならないように工夫しました。バックは思うように描けました。

さあよいよ、電車本体の着色です。赤をどのように出すかととても苦労しました。思った色を出すのはとても難しく、パレットの上で作った時は「良い感じ」なのに、白い紙の上に描くと、「変な色」になってしまうのです。だから納得する色を作るのに試行錯誤して時間をかけました。

なので、完成した時は、とても嬉しくて、とて



も満足する絵が描けたと思っています。今まで、いろいろな絵を描いてきたけど、一番苦労して一番時間をかけたので丁寧に描けたと思います。なので、達成感も味わえたとし、時間を気にせず没頭して絵を描く楽しさも感じる事ができました。また、時間ができたら、違う絵にも挑戦したいです。

12月公民館講座のご案内

申し込み先：小諸市文化センター TEL23-8880/FAX25-2224/E-mail：bunka@city.komoro.nagano.jp

パソコンで年賀状

～写真やイラストなどを使って オリジナル年賀状を作ろう～

- ◇開催日 12月5・7・12日(火・木)
- ◇開催時間 午後1時30分～3時30分
- ◇場所 図書学習室 ◇定員 16名
- ◇テキスト代 1,000円
- ◆申込み期間 11月7日(火)～11月21日(火)

季節のおもてなし

門松と水引を作って 気持ちよくお正月さんをおむかえしよう!!

- ◇開催日 12月16日(土)
- ◇開催時間 午前9時～12時
- ◇場所 陶芸木工室 ◇定員 20名
- ◇材料費 2,000円
- ◆申込み期間 11月14日(火)～11月24日(金)

託児付き